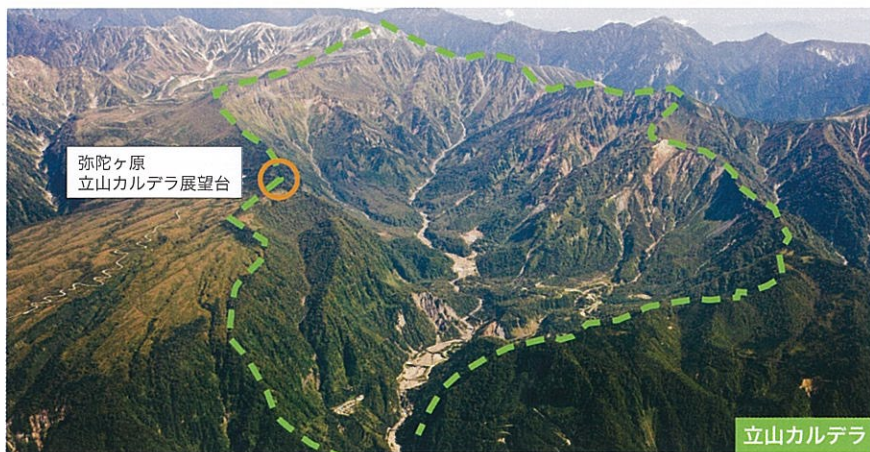


# もう一つの立山自然史、立山カルデラの自然と急流河川の氾濫との闘いの歴史を学ぶ

立山カルデラは、火山活動と侵食作用によってできた日本有数の大規模崩壊地です。独特な自然を持ち、立山の自然史を解明するための重要な地域となっています。立山カルデラには、多量の崩壊土砂が残留し、富山県東部を流れる常願寺川（じょうがんじがわ）流域に度重なる土砂災害を引き起こしてきたため、日本屈

指の砂防事業が続けられてきました。富山県立山カルデラ砂防博物館は、立山について、「立山カルデラの自然と歴史」「砂防」の2つの観点から理解するための施設となっています。また、弥陀ヶ原には立山カルデラを一望できる展望台が設置されています。



人びとの暮らしを守るための「治水・砂防」学習

見どころ  
学びどころ

1

## 急流河川がもたらす「豊かな恵み」と「大災害」の歴史について知る

明治時代に治水工事にあつたオランダ人技師が「これは川ではない。滝だ」と言ったほどの急流・常願寺川。豊かな恵みをもたらすと共に度々大災害も引き起こしてきた暴れ川と住民の歴史を学びます。

見どころ  
学びどころ

2

## 日本有数の大規模崩壊地である立山の自然史を災害と砂防という視点から捉える

100年にも及ぶ砂防工事により砂防技術が蓄積され、「砂防のメッカ」と呼ばれる立山カルデラで、「治水・砂防」技術の重要性を学び、豪雨の影響などにより各地で多発する河川氾濫への対策について考察します。

### 事前学習のポイント

- ・治水、砂防の歴史について調べる。
- ・カルデラとは何か調べる。

### 現地学習のポイント

- ・常願寺川が引き起こしてきた災害の歴史を学ぶ。
- ・カルデラの成り立ちを学ぶ。実際に展望台からカルデラを見学する。

### 事後学習のポイント

- ・身近な河川の歴史を学び、これまでの取り組みとこれからの防災を考える。



## information

### 【富山県立山カルデラ砂防博物館】

〒930-1405 中新川郡立山町芦峯寺字ブナ坂68

☎(076)481-1160 FAX(076)482-9100

●開館時間 9:30~17:00(入館は16:30まで)

GW・夏休み期間8:30開館

●所要時間 1時間30分

●休館日 月曜(祝日の場合開館)、祝日の翌日(土・日の場合開館)、年末年始(12/28~1/4)  
※GW・夏休み期間は無休

●受入期間 通年

●入館料 一般400円、大学生320円(高校生以下無料)

●施設定員 制限なし(映像ホール定員120名)

●駐車場 有【団体バス(50人乗り)3台】

●アクセス 立山ICから車で40分

●最寄り駅からのアクセス 立山駅から徒歩1分

### 【立山カルデラ展望台】

〒930-1405 中新川郡立山町芦峯寺字ブナ坂11国有林 弥陀ヶ原

●期間 4月中旬~11月下旬

●アクセス 立山黒部アルペンルート「弥陀ヶ原バス停」から徒歩20分

